

4°C

holdings group

株式会社4°Cホールディングス 第69期第2四半期株主通信

(2018年3月1日から2018年8月31日まで)

株主の皆様へ

～ すべてはおお客様の“笑顔”や“ときめき”のために ～

当社グループは、すべてのステークホルダーに対して誠実に対応し、お客様に信頼される企業、社員に夢を与えられる企業、社会に貢献できる企業、株主に期待される企業を目指すことを経営理念としています。

そして、常に挑戦の姿勢で物事に取り組み、新しい市場を創造し、価値を創り続けることにより、持続可能な発展を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご助力をいただければ幸いです。



代表取締役会長・CEO
木村 祭氏

代表取締役社長・COO
瀧口 昭弘

2019年2月期第2四半期の総括

2019年2月期第2四半期の連結業績は、売上高は220億94百万円(前年同期比1.5%減)、営業利益は19億94百万円(同17.2%減)、経常利益は25億78百万円(同15.4%減)、四半期純利益は18億17百万円(同16.0%減)と、増収減益の計画に対し減収減益となりました。

事業別業績をみると、ジュエリー事業を展開するエフ・ディ・シー・プロダクトグループでは、プライダルフジュエリーの回復に時間を要していることから減収減益となりました。一方で、ファッションジュエリーでは今期より価格帯別ゾーン展開をスタートしており、ブランド価値向上の取り組みにより客単価は上昇傾向にあります。アパレル事業では、アスティグループは、企画提案力と生産背景を活かした主力得意先との取り組み強化が奏功し、好調に推移しました。(株)アージュでは、主力のデイリーファッション事業「パレット」の出店拡大を進めるとともに販促施策の強化に取り組み、堅調に推移しました。その結果、アパレル事業は増収増益となりました。

通期業績予想と下期の重点施策

当社グループは、成長軌道へ乗せるために、下期においても事業ごとの重点施策を推進していきます。ジュエリー事業では、最大需要期のクリスマス商戦の

成功と、プライダルフジュエリーの競争力向上により、既存店の回復を目指します。クリスマス商戦では、限定商品の投入、店頭演出の強化、商品在庫の拡充のほか、クリスマスTVCMを再開するなど、質感の高いクリスマスプロモーションに取り組みます。また、プライダルフジュエリーは、セミオーダー商品の納期短縮や店頭在庫のサイズ等品揃えを拡充するなど、お客様の利便性の向上を図ります。今後もマーケットの拡大が見込まれるEC事業では、ECサイトの全面リニューアルにより、ビジュアルイメージと利便性を高めていきます。アパレル事業は、従来の施策を着実に実行し、安定成長の継続を目指します。そして、中長期的な最重要課題である4°Cブランドの価値向上に向け、「Challenge and Change (挑戦と変革)」をテーマに掲げた第5次中期経営計画のもと、引き続き「100年企業」、「100年ブランド」の実現に向けて、「人材の育成」、「商品力の強化」、「マーケット動向の把握」に取り組んでまいります。

2019年2月期の通期連結業績は、上期の状況を鑑みて通期業績予想を修正し、売上高は480億円、営業利益は53億円、経常利益は68億5千万円、当期純利益は50億円となる見通しです。

株主の皆様に対する利益還元につきましては、連続増配へのこだわりを堅持するなか、今期は通期で中間配当を含めて10円増配となる75円を予測、8期連続の増配を予定しています。

第5次中期経営計画の基本方針 (2019年2月期～2021年2月期)

スローガン

挑戦と変革 Challenge and Change 4°Cブランドの価値向上
(「100年企業」、「100年ブランド」を目指して)

事業ビジョン

1. ジュエリー事業

- ① 商品・販売・サービスの向上による既存店の回復・成長
- ② 情報技術への対応力強化によるEC事業の拡大
- ③ 海外戦略の再構築

2. アパレル事業

- ① ODMの企画提案力強化
- ② 関西地区ドミナント出店によるマーケット拡大

組織ビジョン

1. グループ経営管理機能の強化

2. グループ人材補強・育成の推進

3. ダイバーシティ経営の推進

2019年2月期第2四半期(2018年3月～8月) 連結決算概要

2019年2月期第2四半期連結業績

- 第2四半期累計期間の連結業績は、減収減益となりました。
- 2019年2月期通期の連結業績は、第2四半期累計期間の状況をふまえて当初計画を見直し、減収減益となる見通しです。

売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
22,094 _{百万円} (前年同期比 △1.5%)	1,994 _{百万円} (前年同期比 △17.2%)	2,578 _{百万円} (前年同期比 △15.4%)	1,817 _{百万円} (前年同期比 △16.0%)

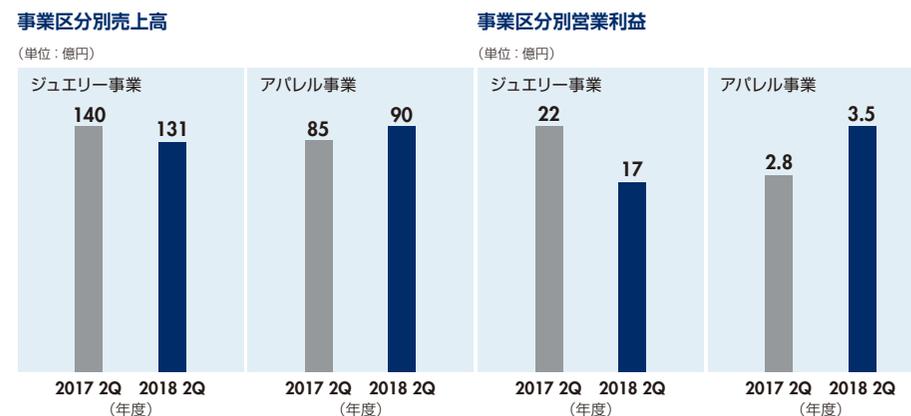


セグメント情報

- ジュエリー事業は減収減益となりました。ブライダルジュエリーの回復に時間を要していること等から、売上高は前年同期を下回りました。
- アパレル事業は増収増益となりました。アパレルメーカー事業における主力得意先との取り組み強化や、デイリーファッション事業における出店拡大、販促施策の強化が奏功し、好調に推移しました。

事業区分別業績	売上高 (単位: 百万円)			セグメント利益 (単位: 百万円)		
	2018年2月期 第2四半期	2019年2月期 第2四半期	前年同期比(%)	2018年2月期 第2四半期	2019年2月期 第2四半期	前年同期比(%)
ジュエリー事業	13,957	13,108	△6.1	2,193	1,731	△21.1
アパレル事業	8,469	8,985	+6.1	277	351	+26.3

注1: 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。注2: 外部顧客に対する売上高を表示しています。



トピックス

「4℃」クリスマスプロモーションの展開

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

「4℃」は今年のクリスマスに向けて、2年ぶりにテレビCMを放映いたします。従来のプロモーションイメージを刷新し、大人っぽさや上質さを意識しながらブランドとしてのメッセージをしっかりと込めることで、クリスマスに大切な人を想起いただけるような演出にしています。また、テレビCM以外にウェブや電車広告等も利用し、より多くの方に刷新したイメージを打ち出せてまいります。



「4℃」クリスマスプロモーション広告

クリスマスコレクションの展開

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

「4℃」が今年のクリスマスコレクションに掲げるテーマは「Ever Moment～この一瞬を永遠に～」です。この街に溢れる幸せな時間や仲間との賑やかなパーティ、恋人との2人きりの食事等、誰にも訪れる大切な人との大切なひと時が、いつまでも続きますようにとの想いを込めています。クリスマス限定の特別なジュエリーも多数ご用意いたしておりますので、お近くにいらした際はぜひお立ち寄りください。



クリスマス限定商品

「canal 4℃」ららぽーと名古屋みなとアクルス店オープン

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

2018年9月28日(金)に「canal 4℃」ららぽーと名古屋みなとアクルス店がオープンしました。ららぽーと名古屋みなとアクルス店は、名古屋駅より南約10kmに位置し、周辺10km圏内には他のショッピングセンターも多く建設されています。また、高感度ファッションや話題の飲食店等、名古屋地域およびショッピングセンター業態に初出店となるテナントも多く、幅広い世代のニーズに応える多彩なテナントが集結しています。「canal 4℃」の出店場所は、2Fセンターサークル付近で、別棟との連絡口に近いかもあり、お客様の往来が多いと期待されるエリアとなっています。お近くにいらした際は、ぜひお立ち寄りください。スタッフ一同お待ちしております。



「canal 4℃」ららぽーと名古屋みなとアクルス店

バスタオル寄贈

株式会社アスティ

(株)アスティでは、1972年から毎年「敬老の日」に合わせて老人福祉施設へバスタオルの寄贈を行っています。48回目となる今年は、広島市内の97カ所の老人福祉施設にバスタオル6,293枚をお届けしました。9月3日(月)に市役所を訪問し広島市長に目録を贈呈した後、9月12日(水)、13日(木)には福祉施設を訪問しました。今年寄贈したバスタオルは、広島平和公園に寄せられた折り鶴を再生した「折り鶴レーヨン糸」を織り込んだもので、世界中から平和への想いを込めて寄せられた折り鶴を蘇らせ、地域社会に貢献しました。



老人福祉施設へのバスタオルの寄贈

「パレット」ダイエー桂南店オープン

株式会社アージュ

デイリーファッション「パレット」は、出店拡大による関西ドミナントを推進しています。2018年10月4日(木)に京都のダイエー桂南店の1Fに新店舗をオープンしました。ダイエーとの取り組みとしては3店舗目の出店となります。関西ドミナントとしては京都初出店となり、これからのエリア拡大に向けての重要な拠点と位置づけています。販促活動を積極的に行ったこともあり、開店前には約200名のお客様による行列ができました。今後も、お客様感謝デーやしあわせ会員など、お客様がワクワクするような企画を打ち出し、地域の皆様に愛されるお店作りを続けていきたいと思っております。



「パレット」ダイエー桂南店

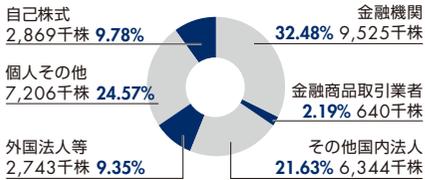
株主情報

株式情報 (2018年8月31日現在)

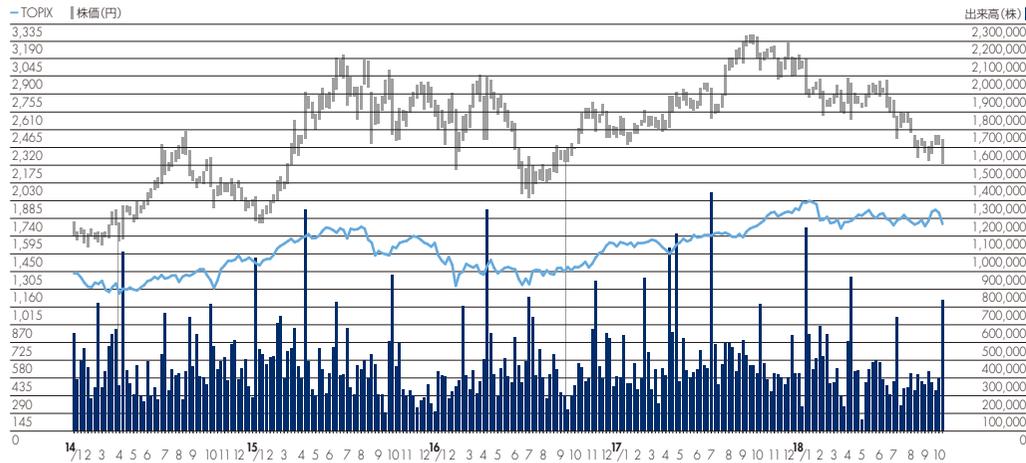
発行済株式総数	29,331,356株
1単元株式数	100株
株主数	7,422名

株式分布状況 (2018年8月31日現在)

■所有者別株式分布



株価推移



大株主 (2018年8月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合 (%)
株式会社フジ	3,025	10.31
株式会社広島銀行	1,314	4.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,277	4.35
第一生命保険株式会社	1,254	4.28
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	929	3.17
4℃ホールディングスグループ共栄会	791	2.70
株式会社三井住友銀行	781	2.66
株式会社伊予銀行	739	2.52
株式会社もみじ銀行	477	1.63
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	472	1.61

注：当社は自己株式2,869,980株を保有しておりますが、大株主からは除外しております。

会社概要 (2018年8月31日現在)

社名	株式会社4℃ホールディングス YONDOSHI HOLDINGS INC. (英文)
所在地	〒141-0021 東京都品川区上大崎二丁目19-10
設立年月日	1950年5月18日
資本金	24億8,652万円
事業内容	ジュエリーを中心とするブランド事業、アパレル・バッグを中心とした企画・製造・卸売事業および小売事業
連結子会社	9社
決算期日	毎年2月末
定時株主総会	毎年5月
配当金支払株主確定日	毎年2月末、毎年8月末(中間配当)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
公告	(公告方法) 当社の公告方法は電子公告としております。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。(公告を掲載するホームページアドレス) http://www.yondoshi.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	8008

株式事務のお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1

お問い合わせ先

0120-232-711 オペレーター対応 / 受付時間 午前9時～午後5時まで(平日のみ)

(ご注意)

- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 配当金の口座振込のご指定につきましては、各口座管理機関にお問い合わせください。

本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と異なることがありますことをご承知おきください。



当社のIRサイトでは、企業活動全般にわたる最新の情報を提供しております。特に株主通信は、株主の皆様によりタイムリーに情報をご提供するため、四半期毎に作成しています。第1四半期および第3四半期株主通信は、ホームページのみでご覧いただけます。また、メールアドレスをご登録いただいた方に随時情報配信を行っております。是非ご覧ください。

URL <http://www.yondoshi.co.jp>

IRお問い合わせ先 TEL: 03-5719-3429 / FAX: 03-5719-3289

経営企画室 E-mail: ir-yondoshi@yondoshi.co.jp

コーポレートガバナンス・ガイドラインについて

コーポレートガバナンスに対する基本的な考え方や取り組みを体系化したものを『コーポレートガバナンス・ガイドライン』としてまとめ、コーポレートサイトへ掲載しております。当社グループは、健全で透明性の高い企業グループとして社会の信頼と責任に応えてまいります。

URL <http://www.yondoshi.co.jp/company/governance/>